

3月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

市長提出追加議案第19号 令和3年度二本松市一般会計予算

反対

菅野 明 議員

二本松城跡整備事業は議会の質問などで、「三ノ丸復元を目指しているものではない」と述べているが、事業にかかる費用は今後10億円前後との試算もあり、こうした大型事業が今、本当に必要なのかが問われている。

新年度予算は市税の落ち込み、地方交付税の減額が見込まれ、合併特例債（借金）は令和12年度迄の期間で残り56億円余りしかなく、今のままだと2年半分しかない。コロナ禍で市民の暮らしを考えたとき反対である。

賛成

平塚 與志一 議員

令和3年度一般会計予算に賛成討論を行います。

この予算は、職員給与、議会の報酬、新型コロナウイルスワクチン接種費、生活保護費、災害復旧費等々、市全般における予算であり、一部の予算計上に対して全予算を反対すべきではありません。議員の皆さん、満堂の賛成をお願いし、賛成討論といたします。

請願第2号 安達地方仮設焼却施設の跡地利用に関する請願書

反対

加藤 建也 議員

原則として、請願とは公益性を重視するもので特定の人の為にするものではないので反対です。しかし、今回の件は環境省の事業として安達広域が進めているもので、その長である二本松市長に陳情に行き、話し合いが進まず、このような請願となった。だから、安達広域の長である市長が真剣に地権者の皆様の話を聞いていれば、安達広域で議論すべき案件をこのように二本松市議会で討論する筋違いの場にはならなかったはずです。

賛成

平栗 征雄 議員

広域自治体での焼却処分場建設に難儀してきました。ようやく令和3年度中には焼却処分、搬出完了の見通しです。私達の環境改善に大きく寄与していただいた地権者の皆さんや地域の皆さんに対し、哀心より感謝申し上げます。請願先は安達地方広域行政組合管理者並びに二本松市長であり、請願者に対しその意を汲み取り、用地の有効利用と東和地域の活性化の為に何らかの誠意を示すべく努力と協力は必要ではないかと考えています。

賛成

野地 久夫 議員

この施設は放射能汚染物を焼却し減量化する大変重要な施設で、私達の環境改善に協力を頂いた施設です。地権者と地域の皆さんの並々ならぬご協力で設置され感謝と御礼を申し上げます。事業主体は環境省と安達地方広域行政組合で、管理者の三保市長に要望書を提出しても何の対応もないので、さらに議会から意見書を提出するよう望むものです。用地の有効利用と地域活性化を望むもので、対応すべく何なるの誠意と努力は必要と考え賛成する。

賛成

佐藤 源市 議員

仮設焼却施設は、二市一村で保管の農林系及び可燃性除染廃棄物10万8千トンを経済省と安達地方広域行政組合が減容化するもの。この施設は平成28年6月に事業費177億円で、戸沢字熊ノ久保地内に設置決定。設置に至っては、地域と地権者は血の汗が流れる激論の末、安達地方、二本松市民の為に受け、現在、減容化焼却、本宮市台風ガレキ処理も行い、今後は公共利用、企業誘致し、安達東部発展へ有効活用を図ることを望み賛成する。